

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	卒業研究		
英文授業科目名	Senior Thesis		
開講年度	2008年度	開講年次	4年次
開講学期	通年	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	8
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	M全教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
学部1～3年までの3年間に、講義、演習、実験を通して機械工学の基本を学んできた。学部4年生では、各研究室に配属され、指導教員から与えられた機械工学の研究課題を約1年間にわたって研究を行う。この卒業研究を通して自ら課題を解く能力を身につけることを目的とする。また、基礎科目、専門科目に関する理解を深めることも目的とする。

【前もって履修しておくべき科目】
卒業着手審査条件を満たし、合格すること。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
各指導教員の指示による。

【授業内容とその進め方】
各研究室に所属し、指導教員の指導のもとに研究を行う。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

指定した期日までに卒業研究の結果をまとめて卒業研究論文として指導教員に提出する。さらに年度末に行われる卒業研究発表会(審査会)で卒業研究の発表を行う。卒業研究論文と卒業研究発表会での発表の結果をもとに合否を判定する。

【オフィスアワー：授業相談】

各指導教員の指示による。

【学生へのメッセージ】

卒業研究を通して、研究する能力、つまり課題を解決する能力を身につけて欲しい。これは多くの学生諸君が卒業後、メーカー系企業の就職する。就職した企業での製品の研究開発に卒業研究で学んだ課題を解く能力が大いに役立つ。

【その他】